

1. 科目名 (単位数)	保育原理 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2338 SNMP2388 SCMP2338 SBMP2338 SPMP2338 SJMP2107
2. 授業担当教員	岡野 雅子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	乳幼児期における保育・教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うきわめて重要なものである。そのことを踏まえて本科目では、なぜ重要な意味をもつのかについて、様々な観点から理解できるようにする。 保育の意義とその思想、保育の歴史の変遷、子どもの発達特性、保育理論と実践との関連などについて概説し、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を基本的資料として、保育の原理、目的、目標、内容、方法、計画、評価について理解する。さらに、現代的保育ニーズや子育て支援に関する基本を習得する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の目的、目標、内容、方法を理解し、説明することができる。</li> <li>2. 保育の歴史の変遷、その思想についての知識を身に付ける。</li> <li>3. 保育実践の土台となる子ども観、保育観、発達観について理解し、説明することができる。</li> <li>4. 子ども理解の重要性、個の特性に応じた望ましい援助について習得する。</li> <li>5. 環境を通して行う保育について理解し、具体的な実践方法を習得する。</li> <li>6. 保育の現状を知り、現代社会における保育ニーズや子育て支援について理解し、説明することができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	学習状況に応じて『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』の内容に関する課題を課す。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<b>【教科書】</b> 柴崎正行編『改訂版 保育原理の基礎と演習』わかば社 <b>【参考書】</b> 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規 文部科学省『幼稚園教育要領』(平成 29 年告示) 厚生労働省『保育所保育指針』(平成 29 年告示) 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型人的こども園 教育・保育要領』(平成 29 年告示)		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の目的、目標、内容、方法を理解し、説明することができるか。</li> <li>2. 保育の歴史の変遷、その思想についての知識を身に付け、説明できるか。</li> </ol> ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への積極的参加 総合点の 20%</li> <li>2 期末試験(または期末レポート) 総合点の 50%</li> <li>3 課題レポート 総合点の 10%</li> <li>4 日常の学習状況 総合点の 20%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	人格形成の基礎となる乳幼児期の子どもに専門家としてかかわる保育者は、子どもに対して多大な影響を及ぼす存在であることをしっかりと自覚して下さい。自分の将来像と関わらせて、授業に真剣に臨んで下さい。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業のルールは守る(欠席・遅刻をしない)。</li> <li>2. 私語はしない。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	保育とは何か	事前学習	「保育所」と「幼稚園」の社会的役割の違いについて調べておく。
		事後学習	授業内容を復習し、「養護と教育の一体化」の意味を理解する。
第 2 回	諸外国の保育の歴史の変遷	事前学習	ヨーロッパの保育の歴史について調べておく。
		事後学習	コメニウスからフレーベルの思想について、要点をまとめる。
第 3 回	日本の保育の歴史の変遷	事前学習	日本の保育の歴史について調べておく。
		事後学習	倉橋総三の思想について、要点をまとめる。
第 4 回	保育の目的・目標、ねらい	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」のそれぞれの第 1 章を読み、理解する。
		事後学習	保育の目的・目標・ねらいの関係を復習する。
第 5 回	保育の内容、方法	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の保育の内容・方法についての記述を読み、理解する。
		事後学習	保育の内容と方法の密接な関係を復習する。
第 6 回	子ども観、保育観	事前学習	子ども観、保育観の意味を調べておく。
		事後学習	自分の子ども観や保育観について考えをま

			とめる。
第7回	発達の捉え方	事前学習	「発達」の定義について調べておく。
		事後学習	自分の発達観について考えをまとめる。
第8回	5領域の意味	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の5領域の箇所を読み、「ねらい」と「内容」の関連について考える。
		事後学習	5領域をふまえたうえで、総合的な指導・援助の意味を理解する。
第9回	遊びの意味	事前学習	身近な幼児の遊びを観察し、気づいた点や特徴を文章化する。
		事後学習	遊びと学びの関係を理解する。
第10回	保育の環境	事前学習	保育の環境の諸側面について調べておく。
		事後学習	「保育は環境を通して行うものである」について理解する。
第11回	保育課程、教育課程	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の教育課程、保育課程について読み、その意味を理解する。
		事後学習	保育に計画が必要な理由を理解する。
第12回	指導計画	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の「指導計画」について読み、その意味を理解する。
		事後学習	指導計画の具体例を読み、発達段階による違いを理解する。
第13回	現代の子どもをとりまく状況と保育の現状	事前学習	現代の子どもをとりまく状況について考え、気づいた点をまとめる。
		事後学習	現代の子どもをとりまく状況について整理し、保育者としての課題について自分の考えをまとめる。
第14回	現代の保育ニーズと子育て支援	事前学習	政府が発表している子育て支援策について調べておく。
		事後学習	子育て支援策の移り変わりのポイントについて整理する。
第15回	全体の振り返りとまとめ	事前学習	本授業における要点や課題を整理しておく。
		事後学習	本授業を通して学んだことを振り返り、各課題に関するポイントを整理してノートを作成する。
期末試験			